

前期基本計画 平成30年度 施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：06 笑顔輝く健康づくりへの支援

施 策：01 望ましい生活習慣の定着

施策担当職・氏名	総括主査兼総括保健師 滝田 律子
-----------------	------------------

1. 施策の平成30年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	<p>死亡原因の約6割を占める、がんや脳血管疾患等の生活習慣病を予防するためには、生活習慣を見直し望ましい生活習慣を定着させる必要があります。</p> <p>自分の健康状態を把握し、主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、概ね40歳から64歳までの成人を対象とし、がん検診を含む各種検診事業の実施や健康教育・相談、広報、ホームページ等の媒体を通しての健康知識の普及啓発等、市民が健康づくりを進めやすくするための環境を整備することで、壮年期・中年期の死亡の減少、健康寿命の延伸及び生活の質や人生の質（QOL）の向上を目指してまいります。</p>
--	--

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60	D
			57	58.4	58.4	58.4	58.4	44.8
2	幸福 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	65	D
			58.2	55.8	58.5	61.3	61.3	38.3
	単位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	361 肺がん検診事業 受診率 単位 %	目標値	34	37	38	39	40	41
		実績	39.4	38.7	38.9	39.2	-	-
2	604 胃がん検診事業 受診率 単位 %	目標値	33	34	35	36	37	38
		実績	34.5	33.3	33.8	32.2	-	-
3	655 大腸がん検診事業 受診率 単位 %	目標値	33	34	35	36	37	38
		実績	34.3	34.4	34.6	34.1	-	-
4	2965 健康教育・相談事業 集団健康教室実施回数 単位 回	目標値	120	120	120	120	125	125
		実績	140	132	161	208	-	-
	単位	目標値						
		実績						

前期基本計画 平成30年度 施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策 : 06 笑顔輝く健康づくりへの支援

施 策 : 01 望ましい生活習慣の定着

施策担当職・氏名 総括主査兼総括保健師 滝田 律子

2. 施策の実現に向けての平成30年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
	<ul style="list-style-type: none"> がん検診において、昨年度より受診率が上昇したのは肺がん検診のみでした。 食事、運動等の望ましい生活習慣定着のため、継続推進している健康づくり支援者とともに行う地域での健康づくり事業や体育協会と共催で運動習慣の定着を目的とした元気アップ教室等を通して、必要な情報と運動などの実践の場の提供に努めました。 平成30年度「滝沢市健康づくり宣言」を行い、健康づくり宣言参加団体として134団体が登録しています。 健康づくり宣言を契機として行った、働き世代が参加できる夜間の「ナイトヨガ教室」や笑いをテーマにした「こころの講演会」は、健康づくり参加団体へも通知することで、教室参加者数が増加しています。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
	<p>【重点課題】受診しやすい検診・健康づくりに取組む市民の増加</p> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種がん検診の受診率は、肺がん検診以外は減少。対象者の高齢化や人間ドッグ受診を希望する方の増加が要因と考えられます。 健康づくり支援者とともに地域での健康づくりを積極的に実施しました。昨年度より運動普及推進員の地域での自主的なウォーキング教室などが減少しましたが、保健推進員による自治会毎の健康教室は全自治会で実施し増加しました。

3. 施策の実現に向けての平成30年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
	<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の増加に伴い、誤嚥の危険性など虚弱な方には適さない胃がん検診等は特にも受診者数が減少しています。 食生活の欧米化や交通手段の発達による運動不足、ストレス社会などの要因で生活習慣病の割合は増えています。 超高齢社会を見据え、壮年期からの健康づくりが重要です。 <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活保護受給者の健康度が低い実態から、より担当課と連携し受診率向上に取り組む必要があります。 健康づくりに取り組む方の増加を目指し、健康づくり宣言参加団体等と協力し多方面からの啓発が必要です。

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
	<p>「誰もが幸福を実感できる地域」を目指す本市において、市民が幸福を実感するための条件として「心身の健康」が第1位であることから、更なる、個人の健康づくりの動機付けとなる啓発と住民協働による健康な地域づくり、市民が健康づくりを進めやすい環境整備に努める必要があると考えます。</p>

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種検診の受診率向上に向けて、個々への働きかけとともに、各自治会や団体・企業とともに地域全体で取り組みを進めていく必要があります。 検診受診や運動、食生活等の生活習慣の改善等、市民個々の主体的な健康づくりの取り組みができるよう、各年代のライフステージに応じた開催時間の工夫や気軽に参加できる教室開催など、健康づくりのための環境整備が必要です。 <p>【引き継ぎ課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸や超高齢社会に向けて、若い世代からの健康づくりが重要ですが、参加者が少ない状況です。教室の開催時間や啓発の方法について、今後、関係機関と協議し多くの方が健康づくりを行えるよう、互いに声掛け合う地域づくりや誰でも参加しやすい教室の開催に向けた検討をしていく必要があります。

前期基本計画 平成30年度 施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策 : 06 笑顔輝く健康づくりへの支援

施 策 : 01 望ましい生活習慣の定着

施策担当職・氏名 総括主査兼総括保健師 滝田 律子

(4) 所管実行計画事業費一覧

No	事業名			計画額	実績額	比較 (%)
	分野別計画					
	実施計画					
246	基本・長寿健康診査事業 第2次滝沢市地域保健計画「たきざわ健康プラン21」			30,154	30,660	1.7
361	肺がん検診事業			11,826	11,383	△3.7
604	胃がん検診事業			23,739	22,091	△6.9
655	大腸がん検診事業			10,003	9,500	△5.0
951	インフルエンザ予防接種事業			19,535	20,067	2.7
1785	精神保健事業 第2次滝沢市地域保健計画「たきざわ健康プラン21」			1,397	1,429	2.3
1986	食育推進事業 第1次滝沢市食育推進計画			1,620	1,166	△28.0
2395	患者輸送車運行事業			157	144	△8.3
2427	婦人病検診事業 第2次滝沢市地域保健計画「たきざわ健康プラン21」			29,363	24,353	△17.1
2965	健康教育・相談事業			1,009	938	△7.0
7458	骨粗しょう症予防検診事業 第2次滝沢市地域保健計画「たきざわ健康プラン21」			11	11	0.0
7549	人間ドック事業			5,732	5,890	2.8

